

第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜

スコアオリエンテーリング大会+オリエンテーリング体験会

日 時：2016年9月25日（日）

地 図：かさだⅡ（縮尺1:5000、等高線間隔2m、JSSOM2007 準拠）

形 式：スコアオリエンテーリング（CP数30*当日②番キャンセル、制限時間：60分、減点1分ごとに30点、満点463点）

全国レク・オリエンテーリング・ジュニア大使：扇本真依さん

スタッフ：大場、川島、清水、豊田、近藤憲、吉岡、橋本、中田茂、中田啓、扇本、藤田英、藤田智、山田、林、杉森、後藤、鹿野、牧ヶ野智、牧ヶ野

参加者：スコアOL92名、体験会（のべ人数）：ロング10名、ショート：21名、初心者：51名、小計82名、総計174名



大会間近まで天候不順で気をもんだが、大会当日のかさだ広場は、天気も回復し、スコアオリエンテーリングには92名の参加者が集まった。われわれとしては、何とか100人は集めたいという思いで最大限努力してきた。自前のチラシを作りかさだ近隣の小中学校には直接訪問して児童生徒の参加についてお願いをしたり、各地の大会会場でのチラシ配布をしたりしてきた。さらに、百年公園と自然遺産の森で読図講習会も実施し参加者増につなげようとしてきた。実行委員会や県レク協会

渡辺会長が勧誘に動いて下さったこと、各務原市役所職員が多く参加して下さったことに助けられはしたが、われわれの努力が報われたという思いである。ここまで実に長く曲がりくねった道であった。予算的には、県から配当される一律補助の10万円。300人以上の有料参加者を集めなければ追加の補助金が出ないというシステム。参加料はわれわれの相場とかけ離れた2000円と全種目一律に指定された。締め切りも2ヶ月も早い7/24に設定され、当日受付も認められない。もっとそれぞれの種目団体の実情に配慮して柔軟に対応してもらえるとありがたいのだが全国規模の大会となるとこれも仕方ないところであろうか。会議、下見、事前のイベント、提出書類等にどんどん時間を喰われ、さらにエントリー事務の混乱などもあり大変であった。また、全国レクのジュニア大使として、扇本さんのお孫さんの真依さんには、キャラバンイベントなどに大いに活躍していただいた。本当に感謝の気持ちでいっぱいである。当日も炎天下で体調を崩されたにもかかわらず精一杯、頑張ってくださいました。一年以上に亘る大使の大任を全うしていただいた。

当日の競技の内容については、スコアオリエンテーリングだけで2000円の参加料では参加者も敬遠するのではないかとの懸念から、おまけとして無料体験会も用意した。スコアOLのコントロールを利用してロング、ショート、初心者のポイントOL3コースを設定した。



コントロール位置は、全国レクということで、初心者から経験者まで楽しんでもらうために、道を歩けばコントロールに当たるような易しい所にも高得点のポイントを配した。どうしてもコントロール位置は易くなるが、経験者にはトレインの公園の部分では、直進も楽しんでもらえるような所に置いた。しかし、東部の山林部分は、夏場では直進が難しく、ただ距離を稼ぐためのコントロールになってしまった。8月の時点では雨が少なく、



通行可能度も意外と良かったのだが、9月はかなりの雨が降ったので草もずいぶん茂っており、一部小径が埋まったところや小さなオープンが草に埋まりコントロールが置けなくなってしまったりしたところもあった。環境楽園の関原さんに草刈りをして頂いた。さらに雨の影響で前日設置の時点では川の水位が増えて②番付近が水につかっており、急遽②番はキャンセルすることになった。従って満点は463点となった。

また、9/11の県民スポーツの時のフィニッシュの混乱したことと成績処理の時間の問題が露呈したことで、急遽岡崎の杉森さんをお願いしEカードを導入することを決断した。スコアOL終了後、表彰式、さらにその後無料体験会というタイトなスケジュールである。しかも、県民スポーツより30人ほど参加者が多いのでトラブルや処理の遅れは致命的となる。期日が迫ってからお願いしたにもかかわらず、杉森さんに快く引き受けていただいた。その威力は抜群で、12時にフィニッシュ後わずか30分で表彰式が開始できた。ちょうど各務原市長が来場され、タイミングよく表彰状を渡していただくことができた。



レース結果は、ベテラン勢で全コントロールをクリアする選手が出た。個人男子では1位から3位までが満点、高年男子でも1名が満点と、どうしても平坦で道走りになってしまうコースだった。オリエンテーリング初心者にとっては200点から300点の間が多く、難し過ぎず易し過ぎず全国レクの趣旨に適うコース難度ではなかったかと思われる。蒸し暑い中のレースであったが、それぞれのペースで楽しんでもらえたのではないだろうか。



午後の無料体験会も延べ82名の方が参加して下さいました。中には3コースとも走られた方もあり一日たっぷりオリエンテーリング三昧、参加料2000円も十分元が取れたことであろう。いやいやこうして大会を盛り上げてくださる方々に本当に感謝しなければならない。感謝と言えば、今回の大会の成功のためには多くの方々にお世話になった。そして、そのことでいろいろな方面の方々につながりができたわけである。今回の大会のためには、肉体的、精神的、金銭的等々大変な負担をしたわけであるが、得られたもの

もそれ以上に大きかったのではないだろうか。今後につなげていきたい。<橋本八州馬 記>